

平成31年度 中学校入学試験 解答用紙 算数 ② (第三回)

受験番号		氏名	模範解答
------	--	----	------

【1】 解答例

$(7+7) \div (7+7)$ =1	$7 \div 7 + 7 \div 7$ =2
$(7+7+7) \div 7$ =3	$77 \div 7 - 7$ =4
$7 - (7+7) \div 7$ =5	$(7 \times 7 - 7) \div 7$ =6
$7 + (7-7) \times 7$ =7	$(7 \times 7 + 7) \div 7$ =8
$(7+7) \div 7 + 7$ =9	$(77-7) \div 7$ =10

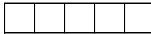
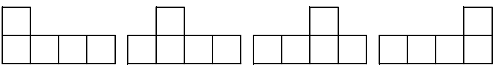
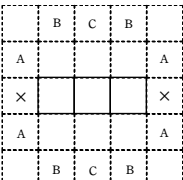
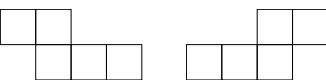

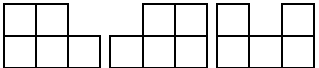
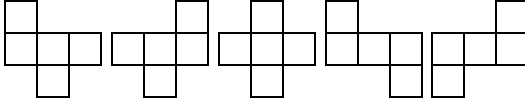
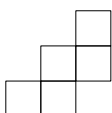
【2】

問1	ア 143 イ 1989	問2	$2 \times 2 \times 7 \times 71$
問3	<p>A を西暦の年, B を平成の年として考えると, 「西暦の年が平成の年で割り切れる」ということは, 「(西暦の年) - (平成の年) が平成の年で割り切れる」ことになります。 (西暦の年) - (平成の年) は常に 1988 なので, 「1988 が平成の年で割り切れる」ということにもなります。</p>		

【2】

問4	<p>考え方</p> <p>(西暦の年) - (昭和の年) は $1926 - 1 = 1925$ 年なので、 「西暦の年が昭和の年で割り切れる」ということは、 「1925 が昭和の年で割り切れる」ことと同じだから、 $1925 = 5 \times 5 \times 7 \times 11$ なので、1925 の約数は、 1、5、7、11、25、35、55、77、・・・となり 昭和は 64 年までなので、割り切れた昭和の年は、 昭和 1 年、5 年、7 年、11 年、25 年、35 年、55 年である。</p>
	<p>答え</p> <p>昭和 1 年、5 年、7 年、11 年、25 年、35 年、55 年</p>

【3】

問1	ア 1 イ 3 ウ 3
問2	<p>考え方</p> <p>●長さが5の場合 1列に並んだ形しかないので1種類。 </p> <p>●長さが4の場合 長さ4の図形に、残り1つをどうつなげるかを考えて4種類。 </p> <p>●長さが3の場合  長さ3の図形を基準にして、 残り2つをどうつなげるか考える。 ・Aの部分を使うものは2種類。  ・Bの部分を使うものは1種類。 ・Cの部分を使うものは1種類。 </p> <p>・A, B, Cどれも使わないものは、 残り2つが両方とも同じ側につながるものが3種類。 </p> <p>残り2つが上と下に1つずつつながるものが5種類。 </p> <p>●長さが2の場合 長さが3にならないようにつなげると1種類。 </p> <p>●長さが1の場合 作ることは不可能。</p> <p>よって、$1 + 4 + (2 + 1 + 1 + 3 + 5) + 1 = 18$ 種類。</p>
	<p>答え</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">18</p> <p>種類</p>